

対象国農業分野における開発ニーズ(課題)

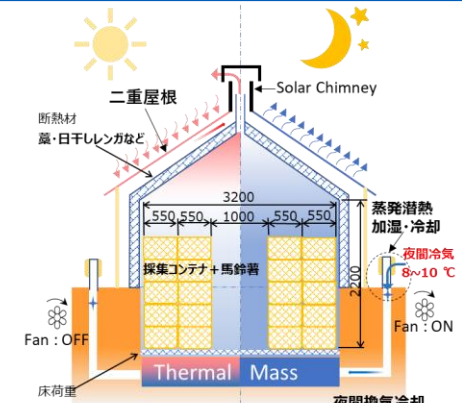
- ・農家から安定した量と質を有する農産物が持続的に供給されることによる食の安全確保
- ・農産物の適切な品質管理と貯蔵管理
- ・市場および消費、輸出を見据えた包括的なフードバリューチェーンの構築

提案製品・技術

- ・電力に頼らない農産物の貯蔵施設
- ・標高が高く夜間冷涼な地域の気候特性を活用
- ・蓄熱層を冷やす空気の循環は自然エネルギー
- ・収穫直後～貯蔵までの前処理と貯蔵に適した屋内環境をパッシブ空調技術で実現する

本事業の内容

- ・ 契約期間: 2023年5月～2024年5月
- ・ 対象国・地域: ケニア国ナイロビ市、ニャンダルア郡、キアンブ郡、ナクル郡、ナロク郡、メルー郡
- ・ 案件概要: 省エネ・低コストのパッシブ型貯蔵施設を開発する。農作物(馬鈴薯)の貯蔵施設を提供し、①農産物の高品質化と安定出荷②フードロス削減に貢献し、農業従事者の所得向上と安定化に大きく寄与する。
帯広畜産大学、ジョモケニヤッタ農工大学との産学連携により実施



パッシブ型農産物貯蔵施設

開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・ 当社: パッシブ型貯蔵施設の開発、設計・維持管理の仕様を決定する。建設・整備、O&Mは現地企業
- ・ 他の農産物への展開を図り現地農家との連携を強化し、1次産業中心のエリアでのプレゼンスを確保
- ・ 将来的に、食品企業を誘致して、6次産業化を展開し、輸出を含めた展開を視野に入れる。

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・ ゴール2: 飢餓をゼロに
収穫時期が集中する馬鈴薯の安定供給が可能になり、持続的な食料の安定供給に貢献できる。
- ・ ゴール12: つくる責任
流通過程での品質低下を防止し、当該地域において流通段階で20～30%発生するフードロスの削減に貢献できる。